

回	日時	タイトル	講座の内容
第1回	2021年5月30日(日) 10:30~12:30	日本語支援への第一歩 -地域の日本語学習支援について考える-	地域の教室に来る学習者が、求めているものはなんだろうか。日々の生活で直面する様々なことに日本語で対応できるようにになりたい、日本人と友だちになりたい、自分ができることで地域に貢献したい…、そのニーズや思いは様々です。同じ地域に住む仲間として、私たちにできる日本語支援について考えます。
第2回	6月6日(日) 10:30~12:30	日本語の基礎知識① 音声・文字	日本語の音には、どのような特徴があるでしょうか。日々何気なく発している日本語の音を聞き直してみよう。また、一音に仮名文字一つが対応するのも日本語の特色です。ひらがな、カタカナを教えるときに留意すべきポイントを押さえましょう。日本で自立して生活していくために、漢字が分かることは大きな力になります。効果的な学習方法について考えましょう。
第3回	6月13日(日) 10:30~12:30	日本語の基礎知識② 名詞文・形容詞文	名詞文・形容詞文の構造を見直してみましょう。「わたしは〇〇です」の自己紹介フレーズをはじめ、名詞文を使って言うことはたくさんあります。また、形容詞が使えるようになると、話題が広がり、表現も豊かになります。支援する側が基本の文法を整理し直すことで、学習者の学びにつなげましょう。
第4回	6月20日(日) 10:30~12:30	日本語の基礎知識③ 動詞 1	動詞を覚えると、起きてから寝るまでの行動をはじめ、日本語で言えることがぐんと増えます。学習のモチベーションが上がる一方で、活用の形がいろいろあることで、難しさを感じる学習者が出てくるのもこの頃です。学習者が躓くのはどんなところでしょう。なぜ誤った使い方をしてしまうのか、その理由を理解した上で、楽しく学べる方法を考えます。
第5回	6月27日(日) 10:30~12:30	日本語の基礎知識④ 動詞 2	動詞の活用形を使った様々な文の形が使えるようになると、日常生活で直面する場面に日本語で対応できることが増えてきます。日本での生活が長くなれば、日本人の友だちや同僚と親しく話したい、という気持ちも強まるでしょう。そのような力をつけるために、初級学習者が使えるようになっておきたい文型と学習のしかたを考えます。
第6回	7月4日(日) 10:30~12:30	日本語の基礎知識⑤ 作文・読解	ひらがな、カタカナや漢字などの文字学習が進んだら、学習者の日本語レベルや興味に合わせて、読み教材に取り組みましょう。また、自分の体験や思いを日本語で書けるようになると、学習意欲も高まります。学習者と対話しながら、書きたいことを引き出す作文指導について考えます。
第7回	7月11日(日) 10:30~12:30	活動計画を立ててみよう① 自己紹介	毎回の日本語支援は、事前に大まかな活動計画を立てておくと、行き当たりばったりの学習にならず、学習効果が高まります。教室での初回の学習で必ず行う「自己紹介」のトピックで、どのような活動ができるかを考えてみましょう。入門期の学習者と、初級・中級の学習者とに分けて、活動計画を立ててみます。教材の使い方、必要な文法事項の示し方も考えます。
第8回	7月18日(日) 10:30~12:30	活動計画を立ててみよう② 一日の生活	「一日の生活」のトピックでは、入門期の学習者でも、動詞の活用等を含む様々な学習項目を1回の活動の中に組み入れていく必要があります。学習者のレベルに合わせて、無理なくメリハリのある活動をするためには、どのように進めたらいいでしょう。グループに分かれて活動計画を立てましょう。教材の使い方、必要な文法事項の示し方も考えます。
第9回	7月25日(日) 10:30~12:30	活動計画を立ててみよう③ 健康と病気	「健康と病気」のトピックでは、自分の体や体調について表現するほかに、医師や看護師との会話を通して様々な文の形を理解して使う必要が出てきます。初級後半、中級の学習者であれば、さらに視野を広げた活動内容も考えられるでしょう。グループで話し合っ活動計画を立てましょう。教材の使い方、必要な文法事項の示し方も考えます。
第10回	8月1日(日) 10:30~12:30	活動計画を立ててみよう④ 模擬授業・質疑応答	①~③で立てた活動計画をもとに、模擬支援を体験します。それぞれのトピックの特徴と併せて、うまく行ったこと、行かなかったことを確認して、今後の支援にどのように生かせるかを考えましょう。今回の講座を通してのご質問もお受けします。

この回は、オンラインで行います(要Zoom視聴環境)